3　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成28年度第１・四半期 発行(借入)	償還	差引き	前年同期 発行(借入)	償還	差引き
国債等	366,864	174,872	191,992	362,483	203,935	158,547
国債(１年超)	348,312	159,425	188,887	346,965	190,546	156,419
借入金	18,552	15,447	3,105	15,518	13,390	2,128
国庫短期証券等	863,295	734,889	128,407	1,021,785	841,447	180,337
国庫短期証券	747,795	619,389	128,406	906,285	725,947	180,337
一時借入金	115,500	115,500	0	115,500	115,500	△ 0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、19兆1,992億円の受取超過であって、前年同期（15兆8,547億円の受取超過）に比べ、３兆3,445億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行34兆8,312億円、償還15兆9,425億円、差引き18兆8,887億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆8,552億円、償還１兆5,447億円、差引き3,105億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、12兆8,407億円の受取超過であって、前年同期（18兆337億円の受取超過）に比べ、５兆1,931億円受取超過額が減少した。国庫短期証券の収支は、発行74兆7,795億円、償還61兆9,389億円、差引き12兆8,406億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,500億円、償還11兆5,500億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 24,153	△ 114,060	△ 138,213
特別会計等	△ 85,881	141,804	55,924
財政投融資	△ 2,383	28,835	26,452
外国為替資金	△ 1,961	△ 7,935	△ 9,896
保険	△ 49,216	55,119	5,904
その他	△ 32,321	65,785	33,464
小計	△ 110,034	27,744	△ 82,289
国債等	191,992	△ 5,054	186,938
国債（１年超）	188,887	△ 3,684	185,203
借入金	3,105	△ 1,370	1,735
国庫短期証券等	128,407	△ 22,690	105,716
国庫短期証券	128,406	—	128,406
一時借入金	0	△ 22,690	△ 22,690
合計	210,365	—	210,365
調整項目	6,600	—	6,600
総計	216,965	—	216,965

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成28年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 147,719	△ 209,593
特別会計の債券売・買(△)	—	58,727
財政投融資	—	5,550
国債整理基金	—	53,177
その他	△ 90,689	△ 62,296
計	△ 238,408	△ 213,162

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、23兆8,408億円の支払超過であって、前年同期（21兆3,162億円の支払超過）に比べ、２兆5,247億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達１兆7,537億円、資金返済16兆5,256億円、差引き14兆7,719億円の支払超過であって、前年同期（20兆9,593億円の支払超過）に比べ、６兆1,874億円支払超過額が減少した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期は、５兆8,727億円の受取超過で、財政投融資は、5,550億円の受取超過、国債整理基金は、５兆3,177億円の受取超過であった。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、９兆689億円の支払超過であって、前年同期（６兆2,296億円の支払超過）に比べ、２兆8,393億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（21兆6,965億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（6,600億円の受取超過）を除いた収支は、21兆365億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、23兆8,408億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（18兆7,824億円）に比べ、２兆8,043億円減少して15兆9,781億円となった。

別表１

財　政　資　金　対　民　間　収　支　実　績　表

△印は支払超過（単位　億円）

区分	4月 収入	4月 支出	4月 差引き	5月 収入	5月 支出	5月 差引き	6月 収入	6月 支出	6月 差引き	計 収入	計 前年同期 収入	計 支出	計 前年同期 支出	計 差引き	計 前年同期 差引き	前年同期比
(1) 一般会計	72,793	122,505	△ 49,711	54,874	38,116	16,758	99,260	90,460	8,800	226,928	235,487	251,081	255,932	△ 24,153	△ 20,445	3,708
租税	60,564	14,596	45,968	51,429	6,452	44,978	96,834	21,024	75,809	208,827	216,742	42,072	43,431	166,755	173,311	△ 6,556
税外収入	11,914	—	11,914	2,926	—	2,926	1,720	—	1,720	16,560	16,750	—	—	16,560	16,750	△ 190
社会保障費	—	24,832	△ 24,832	—	22,005	△ 22,005	—	11,749	△ 11,749	—	—	58,586	58,798	△ 58,586	△ 58,798	212
地方交付税交付金	315	40,283	△ 39,967	519	1,107	△ 588	707	40,702	△ 39,996	1,541	1,996	82,092	82,233	△ 80,551	△ 80,237	313